

平成27年度 J A G E S 参加34市町村における介護予防・認知症予防に資する「通いの場」の現状と課題

研究代表者 竹田 徳則（星城大学リハビリテーション学部 教授）

研究要旨

厚生労働省が公開している平成27年度「介護予防に資する住民運営の通いの場の展開状況（市町村別）」内容のうち、平成26年度に分析を行った日本老年学的評価学研究（JAGES）プロジェクト参加全国34市町村の現状を分析した。その結果、通いの場は34市町村全体で「あり」31市町村、「なし」3市町、通いの場「あり」の箇所数は31市町村で合計3,615箇所（1～1,175箇所）、参加者は女性が81.5%を占めていた。開催頻度は、週1回以上が20.0%、月2回以上4回未満が23.3%、月1回以上2回未満が54.7%であった。主たる活動内容は、体操（運動）34.3%、茶話会31.6%、趣味活動19.2%、1箇所あたり参加者実人数の平均は21.3人（13.9～73.5人）、別途算出した各市町村の65歳以上全高齢者に対する通いの場参加率は、全体では3.0%（0.1～21.0%）、31市町村のうち厚生労働省の目標値である10%超えは4市町であった。

今後の課題は、3,615箇所の78.1%に該当する2,824箇所では参加者の状況区分把握が行われておらず、対象者把握や評価が必要なことであった。また、中長期的視点では、通いの場の箇所数0の3市町における設置及び全市町村において参加者と参加率の増加を図ること、そして参加率が高い市町村において要介護認定率が抑制されるか否かを検証することである。

A. 研究目的

厚生労働省では、今後の介護予防の具体的な推進策の一つとして、住民が運営主体の通いの場の充実を掲げている。これは、団塊の世代が後期高齢期を迎える2025年を見据えた地域包括ケアシステム構築のうち、社会参加促進による介護予防の取り組みに位置づけられる¹⁾。

厚生労働省による通いの場とは、①介護予防に資する地域住民が運営する住民が集う場、②参加者の半数以上が65歳以上の高齢者、③開催回数は月1回以上、④1回の参加者人数は5人以上、⑤市町村が財政的支援を行っているものに限らない、⑥政治・宗教を伴う活動や営利目的の活動ではないとされている²⁾。

また、高齢者が社会参加や生きがいを得たり、高齢者自身や地域住民間の互助を推進することに

よって健康寿命の延伸に向けた地域づくりを意図している。

これまで通いの場と類似の取り組みとして、全国社会福祉協議会が平成6年より推進してきた「ふれあい・いきいきサロン」があり、実数把握は確実にはなされていないが全国では5万箇所以上で展開されてきた³⁾。しかしこれは、厚生労働省が目指している住民主体の運営形態とは異なる箇所も含まれている。厚生労働省では、平成25年度に全国の通いの場の状況を把握し公開している⁴⁾。それによると全国1,741市町村のうち通いの場活動実績があるは1,084市町村（62.2%）、平成26年度では1,271市町村（73.0%）であった⁵⁾。

本報告では、日本老年学的評価研究（JAGES）プロジェクトの健康と暮らしの調査参加の全国34市町村について、平成26年度に引き続き厚生労働省

が公開している平成27年度通いの場に関する資料²⁾を分析することで現状と課題を把握することを目的とした。

B. 研究方法

分析には、平成27年度介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果「介護予防に資する住民運営の通いの場の展開状況（市町村別）」報告資料⁶⁾を用いた。分析対象34市町村を表1に示した。

今回の分析は、該当市町村における平成27年度の通いの場箇所数、参加者実人数（性別と年齢構成内訳）、活動内容、開催頻度、参加者実人数の参加人数階級別箇所数、月1回以上開催の通いの場参加率、参加者の状況区分把握の各項目を用いた。なお、65歳以上高齢者参加率の算出は、月1回以上参加実人数と平成28年1月1日住民基本台帳市区町村別人口に基づき算出した（参加者実人数/65歳以上全数）。

C. 研究結果

表1に34市町村における通いの場の箇所数と性別、年齢の把握できている参加者内訳を示した。通いの場箇所数は34市町村全体では、「あり」が31市町村で合計3,615箇所（1箇所～1,175箇所）、「なし」が3市町村だった。性別と年齢が確認されている参加者は全体で19,633人、その内訳では、男性3,639人（前期高齢者1,352人、後期高齢者2,287人）、女性15,994人（前期高齢者6,001人、後期高齢者9,993人）で女性が81.5%を占め、前後期別では前期高齢者が37.5%、後期高齢者62.5%で後期高齢者が多かった（図1、図2）。ただし、今回用いたデータでは参加者の内訳は31市町村のうち14市町では示されていない。

表2左側と図3に通いの場における主たる活動内容別箇所数を示した。全体3,615箇所のうち体操（運動）1,240箇所（34.3%）、茶話会1,143箇所

（31.6%）、趣味活動694箇所（19.2%）、会食と認知症予防は合わせて538箇所（14.8%）であった。また、表2右側の開催頻度では、週1回以上724箇所（20.0%）、月2回以上4回未満841箇所（23.3%）、月1回以上2回未満1,978箇所（54.7%）、把握していないが72箇所（2.0%）で月1回以上2回未満が多かった。

表3に34市町村別参加者実人数を示した。31市町村実人数は全体で77,128人、通いの場全体数の3,615箇所における1箇所あたり参加者実人数の平均は、21.3人（8.0～73.5人）で約9倍の違いがあった。表3右側および図4に全体での開催頻度別参加者実人数構成比を示した。その結果、週1回以上17.7%、月2回以上4回未満20.9%、月1回以上2回未満59.6%、把握していない1.8%であった。

表4と図5に参加者実人数の階級別通いの場の箇所数と割合を示した。3,615所のうち1～20人が、64.3%、21～40人が27.9%、41～60人が5.8%、61人以上が2.0%でそのうち7箇所は100人を超えていた。

図6に別途算出した平成27年度通いの場への参加率を示した。全国平均3.7%に対して、通いの場設置31市町村では0.1%～21.0%、平均は3.0%だった。厚生労働省が目指している目標値の10%超えは4市町であった。また、図7に示した参加者の状況区分把握の箇所数割合は今回対象3,615箇所中21.9%だった。

表5に34市町村の平成26年度と平成27年度通いの場基本データを示した。2年度間の比較における違いは、主内容別箇所数割合では平成26年度に比して平成27年度が会食と趣味活動が減少した一方で、体操が増加傾向であった。また、開催頻度別参加実人数割合において、把握していないが平成26年度5.5%に対して平成27年度1.8%で減少していた。また、参加者の状態把握をしているでは、平成26年度の23.5%に対して平成27年度が21.9%で減少であった。

D. 考察

JAGES参加34市町村において、通いの場「あり」が31市町村で昨年度よりも1町増えていた。しかし、全体の箇所数はほぼ同数であった。これは増加した市町村がある一方で、住民が運営主体の通いの場の継続において、例えば箇所毎で考えた場合にはボランティアの事情や参加者数の減少によって通いの場の条件を満たしていない会場や、閉鎖が増加した可能性がある。ただし、全国1,741市町村では通いの場が「ある」が81.1%で平成25年度の62.2%、平成26年度の73.0%に比べて増加し、箇所数も同様に43,100箇所と55,500箇所が70,100箇所へと増えている²⁾。しかしながら、通いの場の条件を満たしている箇所をすべて網羅した数値であるかは判断できない。

34市町村では、参加者全実人数は平成26年度に比べて約7,000人増加し、1箇所1回あたり参加実人数は、平成27年度では21名以上の箇所数割合が増え、1箇所平均で見ると平成26年度の19.5人が、21.3人と実参加者は増加していた。したがって、全国の市町村が通いの場と位置づけている会場数と実参加者は1年間で増加し、通いの場の整備が進んでいると捉えることができる。ただし、参加者内訳では、女性が8割と高くやはり男性の参加増につながる通いの場の検討が引き続き課題と言える。

また、65歳以上参加率は、全国の3.7%に対して今回対象市町村の平均は3.0%であり、厚生労働省が示している10%超えは4市町で少なく今後さらなる実参加者増につながるのか注目される。

開催頻度別では、全国の月1回以上2回未満が43%前後で推移している¹⁾が、今回対象では、59.6%で全国に比べその割合は高く、月複数回開催割合は低かった。活動内容別では、体操（運動）と茶話会主体が3割を超えていた。これは全国の40%と20%に比べ前者が低く、後者が高いという特徴を示していた。

通いの場への参加者は、愛知県武豊町追跡デー

タによると非参加者に比べて要介護認定割合が、6.3%低いことや認知症発症リスクが3割低いことが報告されている^{7, 8)}。今後65歳以上実参加者の10%越え市町村でも同様の結果が示されるのか、プログラム内容によってその効果は異なるのか等を明らかにすることが、引き続きの課題である。

E. 結論

厚生労働省の平成27年度における「介護予防に資する住民運営の通いの場の展開状況（市町村別）」報告におけるJAGES参加34市町の状況を分析した。

その結果、34市町村のうち31市町村で通いの場が展開され、通いの場は全体では3,615箇所、参加者は女性が81.5%を占めていた。開始頻度は、月1回以上2回未満が59.6%で多い一方、週1回以上開催が17.7%であった。主たる活動内容は、体操（運動）と茶話会と趣味活動とで85.2%、1箇所あたり参加者実人数の平均は21.3人、別途算出した市町の65歳以上高齢者の参加率は全体で3.0%、10%超えは4市町村だった。

今後の課題は、3,615箇所のうち2,769箇所（76.5%）で参加者の状況把握が行われていなかった点と、中長期的視点では通いの場の箇所数と参加率の増加がさらに図られるのか、そこへの参加者や参加率が高い市町村において要介護認定率が抑性されるのかその効果検証を行うことである。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

参考文献

1) 厚生労働省：地域ケア包括ケアシステム.

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chii-ki-houkatsu/

2) 厚生労働省老健局老人保健課：平成 27 年度介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果（概要）.

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/27chousakekkagaiyou.pdf>

3) 全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会（編）：ふれあい・いきいきサロンのてびき. 社会福祉法人全国社会福祉協議会，東京，2008.

4) 厚生労働省老健局老人保健課：平成25年度介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果（概要）.

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000077238.pdf>

5) 厚生労働省老健局老人保健課：平成 26 年度介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果（概要）.

http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000077238_3.pdf

6) 厚生労働省老健局老人保健課：平成 27 年度介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000141576.html)

[/bunya/0000141576.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000141576.html)

7) Hiroyuki Hikichi, Naoki Kondo, Katsunori Kondo, Jun Aida, Tokunori Takeda, et al: Effect of community intervention program promoting social interactions on functional disability prevention for older adults: propensity score matching and instrumental variable analyses, JAGES Taketoyo study. Journal of Epidemiology & Community Health69:905-910, 2015.

8) Hikichi H, Kondo K, Takeda T, et al: Social interaction and cognitive decline: Results of 7-years community intervention. Alzheimer's & Dementia: Translational Research & Clinical Interventions 3: 23-32, 2017. DOI: <http://dx.doi.org/10.1016/j.trci.2016.11.003>

表1 通いの場箇所数と参加者内訳

市町村	箇所数	男性			女性		
		総数	65歳以上 75歳未満	75歳以上	総数	65歳以上 75歳未満	75歳以上
東川町	0	0	0	0	0	0	0
美瑛町	1	1	0	1	14	0	14
東神楽町	8	20	0	20	77	0	77
十和田市	20	0	0	0	0	0	0
岩沼市	24	0	0	0	0	0	0
柏市	257	241	80	161	964	400	564
横浜市	881	1,075	314	761	4,709	1,305	3,404
新潟市	330	42	32	10	178	115	63
中央市	10	0	0	0	0	0	0
早川町	8	0	0	0	0	0	0
名古屋市	363	0	0	0	0	0	0
豊橋市	15	0	0	0	0	0	0
半田市	82	140	35	105	1,332	643	689
碧南市	0	0	0	0	0	0	0
西尾市	28	48	16	32	329	124	205
常滑市	65	21	9	12	203	36	167
田原市	16	43	23	20	201	61	140
阿久比町	6	27	2	25	94	5	89
南知多町	5	0	0	0	0	0	0
美浜町	20	0	0	0	0	0	0
武豊町	11	0	0	0	0	0	0
東海市	58	28	3	25	124	35	89
大府市	8	0	0	0	0	0	0
知多市	29	0	0	0	0	0	0
東浦町	29	0	0	0	0	0	0
度会町	5	0	0	0	0	0	0
神戸市	1,175	1,597	702	895	6,701	2,944	3,757
十津川村	2	1	1	0	18	3	15
高梁市	85	0	0	0	0	0	0
丸亀市	1	6	2	4	35	8	27
松浦市	6	25	13	12	77	27	50
御船町	65	313	119	194	864	276	588
南城市	2	11	1	10	74	19	55
今帰仁村	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,615	3,639	1,352	2,287	15,994	6,001	9,993

表2 通いの場箇所数と活動内容・開催頻度

市町村	箇所数	活動内容					開催頻度			
		体操 (運動)	会食	茶話会	認知症 予防	趣味 活動	週1回 以上	月2回以上 4回未満	月1回以上 2回未満	把握して いない
東川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美瑛町	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
東神楽町	8	0	1	5	0	2	1	0	4	3
十和田市	20	11	0	9	0	0	4	4	12	0
岩沼市	24	24	0	0	0	0	6	10	8	0
柏市	257	34	2	200	6	15	40	30	161	26
横浜市	881	436	43	243	122	37	123	364	391	3
新潟市	330	118	1	171	5	35	52	73	201	4
中央市	10	10	0	0	0	0	1	1	8	0
早川町	8	1	1	1	3	2	0	0	8	0
名古屋市	363	119	6	8	0	230	97	36	230	0
豊橋市	15	15	0	0	0	0	11	4	0	0
半田市	82	57	0	17	6	2	61	18	3	0
碧南市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西尾市	28	10	2	9	1	6	10	2	16	0
常滑市	65	44	12	7	0	2	11	38	16	0
田原市	16	3	0	5	1	7	2	2	12	0
阿久比町	6	0	0	6	0	0	4	0	2	0
南知多町	5	0	1	3	0	1	0	5	0	0
美浜町	20	7	1	11	0	1	1	5	14	0
武豊町	11	1	0	10	0	0	0	5	6	0
東海市	58	26	0	30	2	0	24	9	25	0
大府市	8	8	0	0	0	0	2	6	0	0
知多市	29	5	5	17	2	0	8	6	15	0
東浦町	29	15	0	14	0	0	29	0	0	0
度会町	5	1	1	2	0	1	0	0	5	0
神戸市	1,175	209	252	335	46	333	225	178	736	36
十津川村	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0
高梁市	85	19	8	34	4	20	2	4	79	0
丸亀市	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
松浦市	6	0	2	3	1	0	2	1	3	0
御船町	65	65	0	0	0	0	6	38	21	0
南城市	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
今帰仁村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,615	1,240	338	1,143	200	694	724	841	1,978	72

図1 把握している参加者実人数の内訳(性別)(構成比)

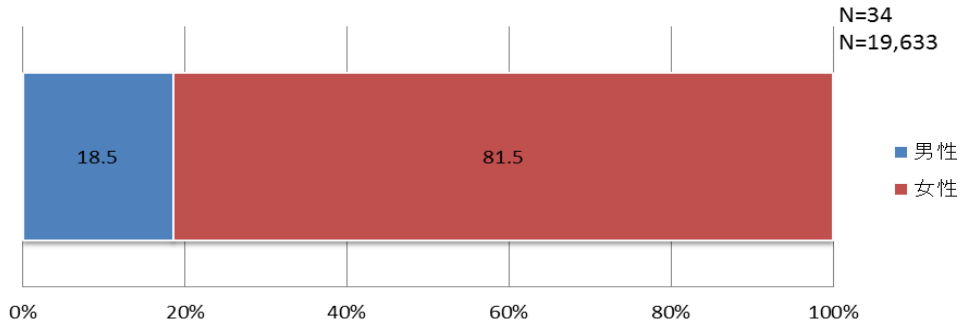


図2 把握している参加者実人数の内訳(年齢区別分)(構成比)

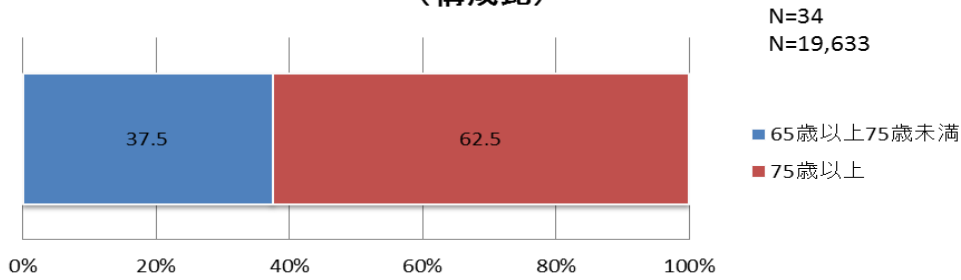


図3 活動内容別の通いの場の箇所数(構成比)

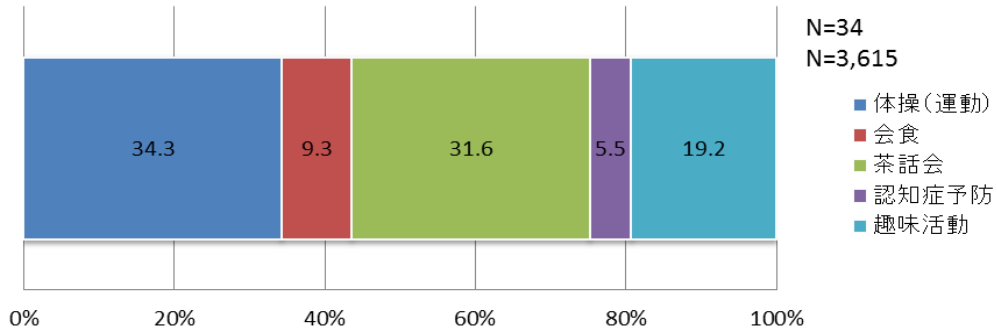


図4 開催頻度別の参加者の実人数(構成比)

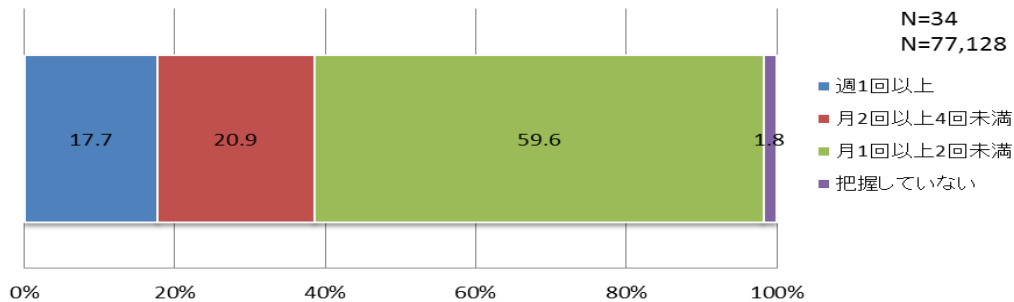


表3 参加者実人数

市町村	箇所数	参加者実人数 (単位：人)	1箇所 平均(人)	週1回 以上	月2回以上 4回未満	月1回以上 2回未満	把握して いない
東川町	0	0	0.0	0	0	0	0
美瑛町	1	15	15.0	15	0	0	0
東神楽町	8	111	13.9	10	0	52	49
十和田市	20	454	22.7	93	110	251	0
岩沼市	24	470	19.6	107	199	164	0
柏市	257	5,607	21.8	1,014	588	3,516	489
横浜市	881	17,365	19.7	2,576	6,603	8,136	50
新潟市	330	6,111	18.5	799	1,327	3,883	102
中央市	10	167	16.7	23	17	127	0
早川町	8	64	8.0	0	0	64	0
名古屋市	363	5,647	15.6	1,372	470	3,805	0
豊橋市	15	322	21.5	231	91	0	0
半田市	82	1,577	19.2	1,140	390	47	0
碧南市	0	0	0.0	0	0	0	0
西尾市	28	572	20.4	195	23	354	0
常滑市	65	1,463	22.5	213	797	453	0
田原市	16	244	15.3	21	14	209	0
阿久比町	6	121	20.2	56	0	65	0
南知多町	5	182	36.4	0	182	0	0
美浜町	20	399	20.0	26	101	272	0
武豊町	11	808	73.5	0	429	379	0
東海市	58	1,250	21.6	619	124	507	0
大府市	8	217	27.1	39	178	0	0
知多市	29	565	19.5	112	95	358	0
東浦町	29	578	19.9	578	0	0	0
度会町	5	113	22.6	0	0	113	0
神戸市	1,175	29,326	25.0	4,171	3,461	20,990	704
十津川村	2	19	9.5	0	0	19	0
高梁市	85	1,956	23.0	59	75	1,822	0
丸亀市	1	41	41.0	41	0	0	0
松浦市	6	102	17.0	18	26	58	0
御船町	65	1,177	18.1	95	723	359	0
南城市	2	85	42.5	0	85	0	0
今帰仁村	0	0	0.0	0	0	0	0
合計	3,615	77,128	21.3	13,623	16,108	46,003	1,394
			(平均)				

表4 参加者実人数の階級別、通いの場の箇所数(単位:箇所)

市町村	箇所数	1~20人	21~40人	41~60人	61~80人	81~100人	100人超
東川町	0	0	0	0	0	0	0
美瑛町	1	1	0	0	0	0	0
東神楽町	8	7	1	0	0	0	0
十和田市	20	10	10	0	0	0	0
岩沼市	24	16	8	0	0	0	0
柏市	257	151	92	9	3	1	1
横浜市	881	609	236	31	3	2	0
新潟市	330	230	91	6	3	0	0
中央市	10	8	2	0	0	0	0
早川町	8	8	0	0	0	0	0
名古屋市	363	267	96	0	0	0	0
豊橋市	15	8	7	0	0	0	0
半田市	82	55	24	3	0	0	0
碧南市	0	0	0	0	0	0	0
西尾市	28	19	8	0	1	0	0
常滑市	65	36	23	5	1	0	0
田原市	16	14	2	0	0	0	0
阿久比町	6	4	2	0	0	0	0
南知多町	5	1	3	0	1	0	0
美浜町	20	13	6	1	0	0	0
武豊町	11	0	1	3	1	5	1
東海市	58	34	20	4	0	0	0
大府市	8	2	6	0	0	0	0
知多市	29	20	9	0	0	0	0
東浦町	29	18	11	0	0	0	0
度会町	5	2	3	0	0	0	0
神戸市	1,175	702	283	140	25	20	5
十津川村	2	2	0	0	0	0	0
高梁市	85	36	46	3	0	0	0
丸亀市	1	0	0	1	0	0	0
松浦市	6	4	2	0	0	0	0
御船町	65	46	17	2	0	0	0
南城市	2	0	1	1	0	0	0
今帰仁村	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,615	2,323	1,010	209	38	28	7

図5 1箇所1回あたりの参加者実人数別の通いの場の箇所数(構成比)

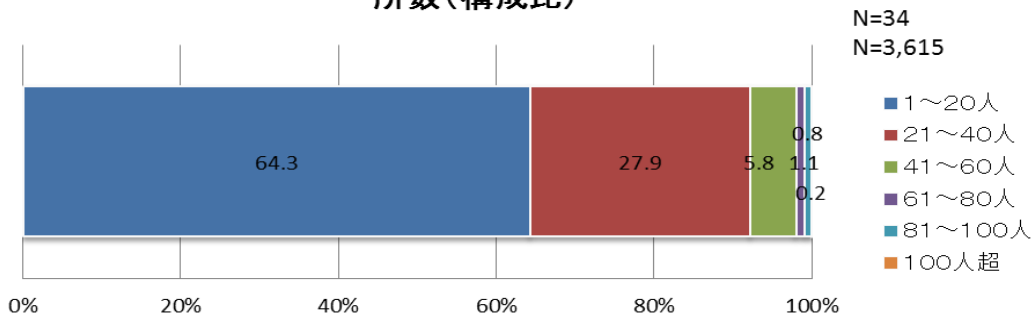


図6 平成27年度通いの場(月1回以上開催の通いの場)への参加率

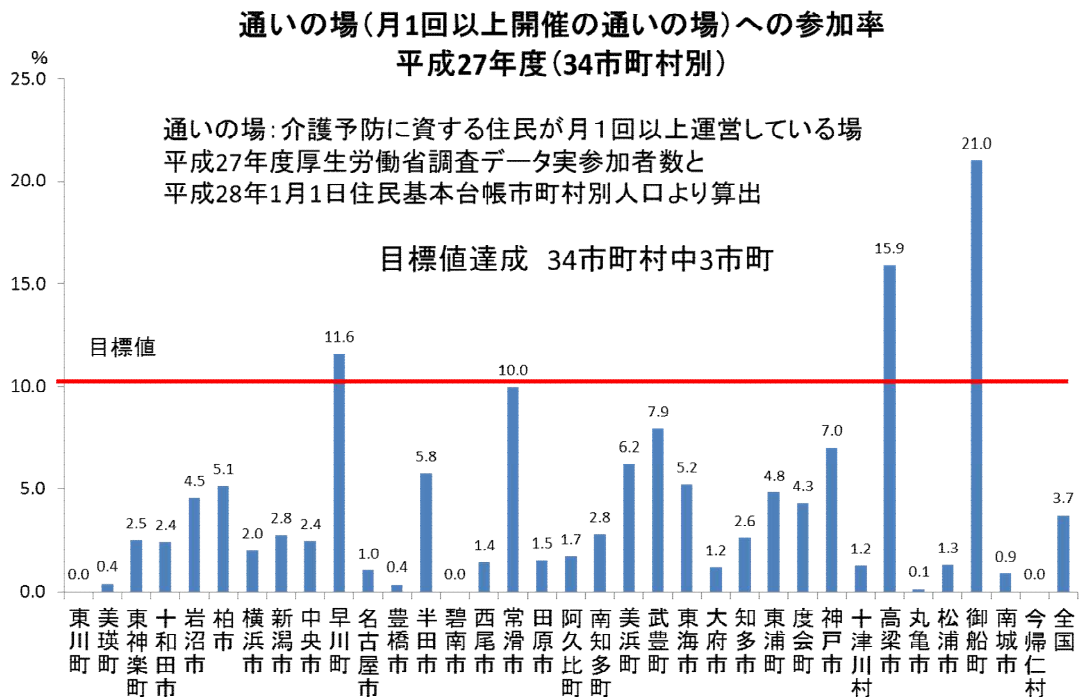


図7 参加者の状況区分を把握している通いの場の箇所数(構成比)

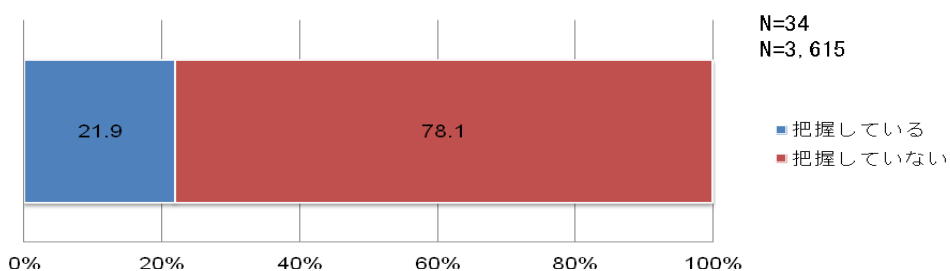


表5 JAGES 参加 34 市町村通いの場基本データ

		平成 26 年度	平成 27 年度
分析 JAGES 市町村数		34	34
通いの場あり市町村		30	31
通いの場数		3,619	3,615
実参加 人数	全実人数 (人)	70,450	77,128
	年齢確認実人数 (人)	21,955	19,633
性別	男性 (%)	18.1	18.5
	女性 (%)	81.9	81.5
区分 高齢者	前期高齢者 (%)	40.7	39.5
	後期高齢者 (%)	59.3	62.5
通いの場数 (再掲)		3,619	3,615
1 箇所平均実参加者数 (人)		19.5	21.3
主内容別 箇所数割合	体操 (%)	30.8	34.3
	会食 (%)	11.2	9.3
	茶話会 (%)	29.1	31.6
	認知症予防 (%)	6	5.5
	趣味活動 (%)	22.9	19.3
実参加 人数割合	開催頻度別参加		
	週 1 回以上 (%)	16.9	17.7
	月 2 回以上 4 回未満 (%)	19.0	20.9
	月 1 回以上 2 回未満 (%)	58.6	59.6
	把握していない (%)	5.5	1.8
割合	「箇所」回あたり参加		
	1~20 人 (%)	68.1	64.3
	21~40 人 (%)	24.4	27.9
	41~60 人 (%)	6.1	5.8
	61~80 人 (%)	0.2	1.1
	81 人~ (%)	1.2	0.9
参加者の状態把握している (%)		23.5	21.9